

## はぐくむ光のびる若芽

120

小川台 林 圭子

わが家には、今年4年生と2年生になる娘がいます。年が近いせいか、あまりケンカもせず、どこへ行くのも2人一緒に仲よく出かけて行きます。買物に出かけると周りの人から「双子ですか。」と言われます。やはり身長が、ほとんど変わらないせいでしょうか。子供たちにしたらあまり嬉しくなさそうです。お姉ちゃんには「なつきと、双子だなんてやだな。」と必ず返答します。妹はその時、「べつにいいでもないや。」と言う顔で、ほとんど気にしていないようです。性格もまったく反対で、姉は口数が少なくおっとりしていて、妹の方はテレビを見ている以外は、延々としゃべり続けています。こんな2人だからうまく調和がとれているのでしょうか。

私の家では、みんなが仕事に出してしまうので、2人が学校から帰宅する時は、だれも見えてあげることができません。最初は、「どうして、お母さんは家で待っていてくれないの。」と娘たちによく言われました。そのたびに、胸が痛くなる思いでした。今では理解してくれたのか、休みの日に

## 優しい子に育って



▲どこへ行くのも一緒に仲よし姉妹

仕事忙しいと、「今日、お母さん卵拾ってあげようか。」と言って、よく手伝ってくれます。そんな娘たちの姿を見ると、親ながら脱帽してしまいます。毎日の仕事が終わるの夕方遅いので、帰ってから必ず学校での話を聞くようにしています。下の娘は、特に、詳しく話してくれま

す。父親とは、いつもお風呂の中で楽しく話しているようです。おじいちゃん、挨拶を教えてくれます。朝、大きな声で「おはようございます。」夕方家に帰ると「苦労さま。」少しでも声が小さいと、何度も繰り返します。最初は、うるさがっていた娘



新シリーズ

## 『40歳からのニューライフ』

◎折り返し人生を楽しく

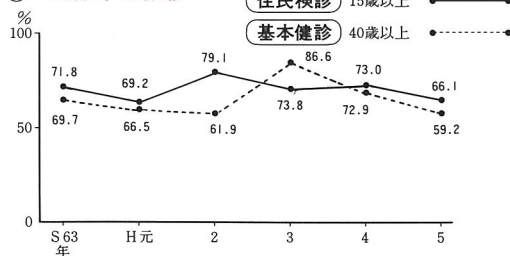
生活のほとんどを仕事に費やしてきた人たちは、40歳になった今、ちよつと立ち止まってみてください。40歳といえば人生のターニングポイント、自分の歩んできた道も、これから進むべき道も見える見晴らしのよい地点にいます。ここで自分の生活を見直し、健康をチェックし、心と体を休め、これからの人生を実り豊かにするためには何が必要か、何をすべきかを考えてみましょう。

## ◎町も今年で40歳！

今年は町制施行40周年の年です。町と一緒に、今後に向けて、時代が求める新

## 平成5年度基本健康診査健診受診状況

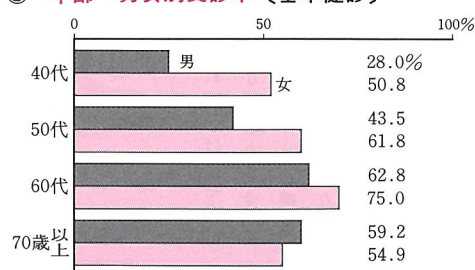
## ① 受診率の推移



〔平成5年度〕

| 住民検診 |        |
|------|--------|
| 対象者  | 4,928人 |
| 受診数  | 3,257人 |
| 率    | 66.1%  |
| 基本健診 |        |
| 対象者  | 3,442人 |
| 受診数  | 2,037人 |
| 率    | 59.2%  |

## ② 年齢・男女別受診率〔基本健診〕



しい暮らしをしてみませんか。今回から年間掲載する「40歳からのニューライフ」は、これからの高齢者社会を構成していく主役たちへ贈るメッセージです。

◎40代・50代の受診率が低い！

毎年夏に行われます基本健康診査（40歳以上対象で血圧・身長体重測定・尿検査・血液検査等、主に成人病のチェックをするもの）の受診状況をみると、平成5年度は表②の通り、働きざかりの40～50歳代の受診率が低い状況です。特に、男性の受診率が低く、40歳代の男性では28.0%と各年代の中で一番低い状況でした。受診率は、会社や病院で受ける方等を除いた方の受診率ですので、本来、自営や農業の他、町の健診を受ける必要がある方々が対象者となっています。家族の大黒柱となる40～50歳代の方が、健診を受けないのは大変残念なことです。今年をきっかけに、これからの健康づくりに力を入れてみてはいかがでしょうか。